

「多摩市の社会教育施設のあり方を考える市民と市議会議員との対話集会」

多摩市永山公民館 市民企画講座 2017年10月21日

実施報告 ホームページ用

企画・実施に先だち、市議会議員のみなさまに、社会教育に関するお考え・体験とともに、当日の運営についてのご意見をお聞きする第1次アンケートと、多摩市の社会教育施策に直接関わってのご意見をお聞きする第2次アンケートを行内しました。第1次アンケートでは、13名の方がご回答くださいました。第2次アンケートについては、いただいた回答を当日の討議の資料として配布させていただきましたが、これも16名の方がご回答くださいました。

当日は7名の市議の方がご参加くださいました。

衆議院選挙の前日で、また台風到来と、大変な日になってしまいましたが、40名もの参加を得て、はじめに、私どもからの三つの報告をさせていただいたあと、5つのグループに分かれて、社会教育施設のあり方について活発に討議することができました。

社会教育施設の重要性とともに、そのあり方についてはたとえば地域図書館に居場所としての意味がある一方で、単なる居場所ではない読書を通じて文化を育む意味、多摩市でも公民館での活動を通じて多くの市民が育ってきたという歴史、児童館の重要性、社会教育施設に対する市民のさまざまなとらえ方、多様な利用の仕方とその発展の可能性、社会教育施設の現場の職員の重要性ほか、今後の多摩市の社会教育施設のあり方について、具体的に、自由闊達に議論を行うことができ、さらに議論を深めていく必要性も共有できたように思われました。(荒井容子)

当会のホームページの文字化けがしばらく続いていましたが、昨年末ようやく修復できました。そこで、10月21日の講座の情報、当日配布した資料、また、私ども3人が第1部で報告したときに用いたパワーポイントのデータをアップしました(齊藤さんのもののみ、掲載写真の関係で一部改訂しています)。

当日の事業実施報告(公民館に提出したもの)と、事業参加者の参加後の感想(アンケート)集約版(いずれも安室さん作成)も掲載しました。 20180104 荒井容子